

全東京写真連盟

撮影会写真コンクール

入賞作品集



審査対象 2021年新人モデルお披露目撮影会

撮影日 2021年03月07日

審査日 2021年05月05日

審査員: HARUKI 先生



金賞
「逆光の中で」
寺島 弘行 様
モデル 杉浦檸檬

審査員:HARUKI先生 講評

背景は海になるのでしょうか。白っぽい背景を上手く利用して、スタジオでの白バック設定にも似たような効果を出しております。この手法としての利点はまわりを「白」というシンプルなベースに統一することによって、モデルのみを浮き上がらせて表情やポーズへと視線を集中出来るというところにあります。せっかくの屋外撮影会では本来なら撮影のロケーションを組み合わせたいところですが、露出設定に気を付ける注意はありますが天気が悪いなどの条件では応用技として使える手法です。逆光線に浮かぶ彼女が美しく惹き立つ作品となりました☆



銀賞
「椿姫」
豊田 光司 様
モデル アビラ凜

審査員：HARUKI先生 講評

椿の木の下に寝そべるモデル。このシチュエーションでの応募作品が今回はたくさんありました。その中から最終的に選ばせて頂いたのはポーズの自然さ、横位置での構図の絶妙なバランス、そして何と云ってもちょっと切ないような彼女の表情に魅せられたといってもよいでしょう。このシチュエーションでもしもボクが撮影するならば、環境光よりもほんの少しだけ（例えば1/3絞り程度）強めの光量でデュフューザーなど柔らかい光源の日中ストロボを当て、そちらに露光を合わせることによって背景が若干落としてモデルと花びらを目立たせ「椿姫」を強調するかなと思いました。みなさんも機会があったら今度試してみてくださいネ！



銅賞
「大人の雰囲気」
横塚 英夫 様
モデル 杉浦檸檬

審査員:HARUKI先生 講評

この場面での応募も多かったのですが、本作品の圧倒的な強さはモデルさんの表情と風になびく髪の毛のフォルムでしょう。欲を言うと背景の樹の幹からモデルはもう少し遠ざけたら良かったですね。偶然にも金賞の作品と同じ女性なのですがアチラがモデルらしい作った表情とすればコチラは自然体のフとした瞬間を切り撮ったような真逆の表現ですね。同じモデルさんでも同じ場所でも撮る人や演じる人によって様々な作品が出来上がってくるのが大撮影会での醍醐味のひとつとも云える1枚です◎



入選
「みつめる」
石川 玲 様
モデル 愛野咲実



入選
「ジャンプ！」
鵜飼 典彦 様
モデル 北村真帆



入選
「春を感じて」
漆畑 丈史 様
モデル 杉浦檸檬



入選
「眼差し」
河村 徳助 様
モデル 杉浦檸檬



入選
「みつめる」
中牟田 剛 様
モデル yuki



佳作
「新人モデル」
荒井 秀雄 様
モデル 愛野咲実



佳作
「花の夢」
斎藤 貴生 様
モデル アビラ凜



佳作
「待つ」
猿田 善和 様
モデル 美菜



佳作
「爽やかな日」
鈴木 幸彦 様
モデル 佐野なぎさ



佳作
「虹色天女」
高橋 壯太 様
モデル 堀口桜子



佳作
「何という名の花？」
高橋 敏之 様
モデル アビラ凜



佳作
「鍵盤のスカート」
谷川 朗 様
モデル 堀口桜子



佳作
「埠頭の女」
田沼 靖信 様
モデル 杉浦檸檬



佳作
「海原に咲く花」
北条 善久 様
モデル 北村真帆



佳作
「Yes, My Love」
門間 正之 様
モデル 杉浦檸檬



次点
「視線の先」
生田 文夫 様
モデル 堀口桜子



次点
「紅（くれない）」
小倉 良二 様
モデル 堀口桜子



次点
「やさしい笑顔」
小野寺 基之 様
モデル yuki



次点
「赤い花の春」
五島 隆夫 様
モデル アビラ凜



次点
「水辺の笑顔」
菅原 道久 様
モデル 佐野なぎさ



次点
「なぎさの舞い」
田中 直久 様
モデル 佐野なぎさ



次点
「港を背に」
深野 武雄 様
モデル 佐野なぎさ



次点
「極上の笑顔」
前田 佳宏 様
モデル アビラ凜



次点
「眼差し」
山田 栄一 様
モデル 堀口桜子



次点
「リングの中で」
米沢 健二 様
モデル 杉浦檸檬

今年の新人モデルさんたち、頑張ってくれた様子を拝見しまして安心しました。フレッシュな感じを保ちつつも、この後も積極的に頑張って頂けたら良いですね！！

それと、少しだけうれしいお知らせです。

以前から口を酸っぱくして何度も云って参りました「美しいプリント」を作っての作品応募ですが、数年経ってようやく徐々にですが良くなってきたかのように思います。合格ラインが以前は全体の半分程度だったとしたら最近では8割方が合格といった感じでしょうか。

でもまだ問題もあります（笑）。残りの2割のプリンタについては基本的なこととして必ずテストプリントをして画像チェックをしてください。画面に余計な線が出ていませんか？霞んでいたりしませんか？色がおかしくなっていませんか？用紙設定は大丈夫ですか？これらの原因はたいていはプリンタ設定などで直りますのでギャップ調整やプリンタヘッドのクリーニングなどもお忘れなく。

そして気になるのはデータ作りでの過度なコントラストや彩度の上げすぎです。天候が悪い場合にやや彩度を上げて整えとか夕陽を強調するために彩度を強くするというのはアリですが、それ以外の場面でコントラストや彩度、色味などは触りすぎると現実離れしたものとなってしまいます。それらは基本的なデフォルトでは動かす必要の無いものですので、あくまでも補足的に使用するか効果的な目的時にお使いになって下さい。

せっかくがんばって撮影した作品ですから最終形態のプリントまで美しい仕上げにしてくださいね☆

2021年・5月 HARUKI